

命の尊厳、新元号めぐり大規模デモ!!



数万人に及ぶ人々が国会議事堂を取り囲み、機動隊と交戦する場面も

政府「昭和の終わり方」諮問会議設置



新元号めぐり議論沸騰!

宮内庁による天皇陛下の意識データ劣化公表から5年、その衝撃は、日本社会に大きな波紋を広げ続けている。国民の精神的支柱とされてきた「永遠の昭和」への揺らぎが深まる中で、政府は、異例の「昭和の終わり方」諮問会議の設置を決定した。

管義偉官房長官は記者会見で、「国民の皆様から、陛下の意識の今後、そして元号『昭和』のあり方について、様々な意見が寄せられています。これは、国家の根幹に関わる重大な問題であり、政府として真摯に受け止めなければなりません。諮問会議では、科学技術、倫理、歴史、文化、そして法制度の各分野の有識者に、多角的な視点から議論を行っていただきます。」と述べた。

諮問会議の議題は多岐にわたる。

1 意識の維持と修復
陛下の意識劣化を食い止める、あるいは回復させる技術的方策の再検討。

2 意識の消滅の是非
もし劣化が不可避な場合、意識をどのように扱うべきか。その消滅は許容されるのか、あるいは別の形で維持が可能か、意識データの最終的な処遇について。

3 元号の終わりの定義
物理的な元号としての昭和をいつ、どのように終わらせるべきか。昭和の終わりを具体的にどのように定義し、また新たな元号への移行をどのようにすべきか。

4 陛下の御意思の認識
保存された意識が、この現状をどう捉えているのか。陛下の真の御意思の疎通をどうはかり、どこまで尊重すべきか。

特に最後の議題は、倫理的に最もデリケートな部分である。意識研究の権威、国立精神物理学研究所の佐々木隆司所長、ミライ・ライフ・インスティテュートの木村麗華所長ら、意識解明技術の専門家も諮問会議に参加する予定だ。彼らが保存された陛下の意識との程度対話できるのか、そしてその御意思をどこまで汲み取れるかが注目される。

この諮問会議設置の発表は、国民の熱を高騰させた。全国各地で大規模なデモが勃発。特に東京・永田町、霞が関周辺では、数万人に及ぶ人々が国会議事堂を取り囲み、「昭和を終わらせるな!」「天皇の意思を弄ぶな!」「安易な区切りは認めない!」といった怒号と、様々なメッセージが書かれたプラカードが乱舞した。

デモ参加者の一人、都内在住の70代男性は、「私たちは昭和を生きてきた。安易に時代を区切ることは、私たちの生きてきた証を否定することに等しい」と憤りを露わにした。一方、20代の女子大学生は、「天皇の意識が劣化しているなら、これ以上、形骸化した昭和を引きずる意味はない。新しい時代、新しい価値観で、未来を創っていくべきだ」と語り、明確な区切りを求める声も少なくない。

また、国際社会からも大きな注目を集めている。かつて、意識保存による元号継続という特異な決断した日本を、海外メディアは「時間を止めた国 (The nation that stopped time)」といった見出しで報じた。今回のニュースは、その「止まった時間」にひびが入ったことを意味する。日本が自らの手で作り出した時間のパラドックスに対し、どのような結論を導き出すのか。まるで、奇妙な社会実験を見守るかのように注視している。

並行日本新聞

2015年(昭和90年)
10月15日(水)

発行所

弁天舎



info@parallel-nippon.jp

号外

並行日本新聞・号外は左記サイトでもご覧いただけます。
www.parallel-nippon.jp
8月27日(水)より開催の弁天舎特別企画・シモヒロヤス個展『PARALLEL NIPPON』にて全ての号外新聞を展示予定です。



弁天舎 特別企画
HIROYASU SHIMO SOLO EXHIBITION
シモ ヒロヤス個展2025
PARALLEL NIPPON
2025 8/27 WED.-9/7 SUN.
OPEN 12:00 - CLOSE 20:00
会場 日仏会館ギャラリー
東京都渋谷区恵比寿3-9-25
パスポートチケット/500yen (未就学児無料)

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

プレスリリースより抜粋

未だ昭和が続く、もう一つの日本が存在したなら…。
シモヒロヤス個展『PARALLEL NIPPON』が8月27日(水)より東京・恵比寿で開催!

現代日本は、あるべき日本の姿なのか。
その仮説に基づき、あり得た日本の世界線を、架空の出版社・弁天舎の視点からAIや映像を駆使して捏造する現代メディアアート展。

メディアアーティスト・シモヒロヤスは、生成AIによる膨大な作品群を画材のようなマテリアルとし、多面的に融合・拡張することで新たな表現を見出してきました。中でも、日本画・仏画等に見られるような伝統的な様式美を随所に織り込んだ演出は、時代性のあるリアリティな作品へと昇華しています。本展では、あり得たかもしれない日本の時代変遷を、並行世界からのアプローチで創造。絵画、映像、音声・音楽のエッセンスを一連の作品構成として、鑑賞者を巻き込みながら、芸術におけるパラダイムシフトを試みます。

オープングレセプションのご案内

初日の8月27日(水)には18:00からささやかなオープングレセプションを開催します。
どなたでもご参加できますので、シモヒロヤスとの歓談をお楽しみいただけます。